

クラス通信

麻生屋間部

9月 第5号

2020/9/15 発行

今月号から紙面が変わりました！

保護者の皆様へ（理事長・校長 福島新四郎）

今月号からクラス通信を改訂致しました。予備校の役割は、生徒の皆さんの要望に応える「教科指導陣の提供」およびニーズにかなった「教材の提供」そして、「受験情報の提供」です。受験情報は「進路選択」から「入試制度情報」そして「各大学の情報」と多岐にわたり例えば入試制度改革も一部2024年度まで延期とはなりましたが、来年度から徐々に変わっていきます。そのあたりの情報も逐一お知らせしていきたいと思っております。又HPには毎月内容を掲載していきますのでバックナンバーも合わせてご覧ください。

後期となり、「共通テスト」受験初年度として今から考えておくこと

—「共通テスト」については今回と次号10月の2回掲載していきます—

1回目 各教科の具体的な出題傾向

※試行テストを主に参考にしたもの

<表1>

教科	傾向予測	出題事例(試行テスト・2020年センター)	
国語	異なる分野の文章を組み合わせた、複数の題材による問題を作成して多面的・多角的な視点から解釈させようとする傾向。	日常生活や資料の問題(1回目試行テスト) 4~5ページにわたる長い文章とポスターを題材とする問題(2回目試行テスト)	
数学	事象の数量等に着目して見通しを立て、目的に応じて数式・図表・グラフ等を活用して数学的に処理することを求めようとする傾向。	文化祭でのTシャツの価格設定を検討させる問題(1回目試行テスト) 当たりくじを引く確率を会話文の中で考えさせる問題(2回目試行テスト) 確率に関する4つの記述の中から正しい内容のものを2つ選択させる問題(20年センター)	
英語	リーディング	様々なテキストを使ってその要点を把握し情報を読み取る力を問おうとする傾向。発音・アクセント・語句整序等は出題しない。	海外旅行先で飲食店を探す問題(1回目試行テスト) 怪我をした患者と医者との会話から怪我の部位を推測させる問題(1回目試行テスト) フリーマーケットの出店者募集の告知に関する情報を読み取る問題(20年センター)
	リスニング	読み上げの回数では1回読みを含み、アメリカ英語のみならず多様な話者による現代の標準的な英語を使用しグローバル化を志向する。	
	全般	CEFRのA1~B1レベル(英検2~3級)で問題作成される。 リーディングとリスニングの配点比率については、各大学は傾斜をかけてくるのですが、全国的には1:1とする大学と、従前通り4:1に設定する大学が多いようです。道内の国公立大学に関しては、釧路公立大と公立はこだて未来大が4:1、帯広畜産大が3:2、北見工業大が3:1となっており、この4大学以外の全ての国公立大学(北大・小樽商大・旭川医大・北海道教育大・室蘭工業大・札幌医大・千歳科技大・札幌市立大・名寄市立大)は1:1と発表されています。	
理科	基礎理科	科学的な事象・現象に関する基本的な概念や原理・法則等の理解と活用等を重視。	
	専門理科	科学の基本的な概念や原理・法則等の深い理解を基に課題解決に向けて科学的に探究する過程を重視。	
地歴	地理	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり地理的な課題を解決するために構想したりする力を求める。	

続 地歴 公民	歴史	歴史的な事象を多面的・多角的に考察する過程を重視する。個別の知識のみならず、その意味や意義、特色や相互の関連等についての総合的な考察を求める。
	公民	多面的・多角的考察の過程を重視し文章・資料を読み解き、基本的な考え方を活用し考察する力を求める。図・表・原典・統計等の資料を用いる問題を含む。

共通テスト(新制度)の特徴—判明分

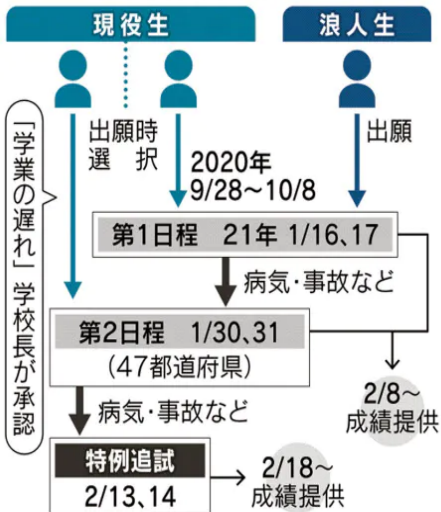
—文科省が今年の1月に発表した「問題作成方針」のポイント—

- (1) センター試験の良問を受け継ぐ問題作成
- (2) 大学教育の基礎力となる「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」を問う問題作成
- (3) 学習過程を意識した問題を重視

○かなり抽象的な作成方針となりますが上記<表1>は「試行テスト」を参考に予想される具体的変化を教科別にまとめたものです。参考にして下さい。
 <担当:情報室高縁>

いよいよ始まる「大学入学共通テスト」への出願等手続きの流れ

2021年度大学入学共通テストの流れ



※日本経済新聞より抜粋

「共通テスト」出願後に大事なこと

・確認ハガキ

出願後必ず「確認ハガキ」が、出願時記載した住所に 10/27(火)までに届くことになっています。**届かない場合**は必ず問い合わせる必要があります。

・受験票

12月、受験票が届きます。試験会場に持って行く大切なものになりますので、なくさないようにしっかりと保管して下さい。また、国公立大学出願及び私立大学のセンター利用の出願にも必要な書類です。

出願日程:9月28日(月)~10月8日(木)消印有効

○当校で全員に「共通テスト」の願書を配布致します。

<出願時に必要なもの>

- 1 志願票
- 2 卒業証明書(原本:高等学校卒業)又は合格証書のコピーか原本(高等学校卒業程度認定試験合格者)
- 3 検定料(下記参照)受付証明書

※特に2の準備は実家から離れて暮らしている場合早めに手配した方が良いでしょう。

○受験日は第1日程と第2日程とありますが高卒生は原則第2日程は選べません。

○「検定料」は、①3教科以上受験 18,000円、②2教科以下受験 12,000円となりますが、基本的に成績通知手数料希望(プラス800円)で出願します。

○「試験会場」について、高卒生・高認生は、志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場となります。

※例年、実家の住所を書いて受験地が実家という羽目になることがあるが寮生など予備校近辺に住んでいるのなら寮の住所が良い。北大など、受験会場に近くて便利な場合が多い。

9月中旬以降及び10月の模試予定

- 9月14日(月)・15日(火)第1回ベネッセ・駿台共催マーク模試
- 10月9日(金)第2回ベネッセ・駿台共催記述模試
- 10月15日(木)第3回全統記述模試
- 10月23日(金)・24日(土)第3回全統共通テスト模試

今後の予定はQRコードでHPにアクセスしてご覧下さい

本科生



☎(011)

716-7162

学校法人 クラスユニック

札幌市北区北37条西3丁目3-15

Email: classe-jimu@classeunique.ac.jp